



インフォメーション

日本蜘蛛学会奨励賞 学生発表賞

2018年度日本蜘蛛学会奨励賞には須黒達巳さんが選ばれました。

2018年度広島大会での学生発表賞には古賀存さんが選ばれました。



左から井原庸さんと娘のなみはさん、
奥さんの恵さん



トピックス

日本蜘蛛学会第50回 大会@広島訪問記

長崎緑子

第50回の節目となる日本蜘蛛学会は8月25日と26日に広島大学東千田キャンパス(広島市中区)で開催された。7月の西日本豪雨で広島県が被災しており、大会が無事開催できるのか心配されていたが、会場近くは大きな影響もなく、予定通りの開催となった。

25日9時に受付に向かうと、若い女性から「ミドリコさんですよ。井原です」と声がかかった。この人こそ、ナミハグモにちなんで命名された井原庸さんの娘のなみはさんだった。

近くにいた、谷川明男さんが「えっ、学生さんじゃなかったの」と、驚きの声を上げる。残念ながら中国地方には広島まで手伝いに駆けつけられる学生は少ない。事務局の井原さんが娘さんにまで学会運営を手伝ってもらっている姿に、事務局の大変さが垣間見られ、頭が下がる思いがした。

そうこうするうちに、大会が開会した。今年度から新しく蜘蛛学会長に就任した田中幸一・東京農業大教授のあいさつに続き、さっそく大学生の発表がはじまる。学生発表賞に輝く東海大の古賀存さんの発表では、熊本の入江照雄さんの懐かしいお名前を見つけた。入江さんのフィールドは、洞窟だけでなく、洞窟と同じように暗い「モウソウ竹林」にも渡っているのだと感慨深かった。

学生さんの発表3題の次に登場したのは、

学生とはほど遠い白髪の新海 明さん。「学生発表と区別しやすいよう、ここで新海さんに登場してもらおうと事務局が決めたのだろう」と谷川さんが解説してくれた。



学生発表賞の古賀さん（右から2人目）と、学会の運営を手伝ってくれた東海大の学生さんたち

休憩を挟み、奨励賞を受賞した慶応義塾幼稚舎の須黒達巳さんの『『ハエトリグモハンドブック』ができるまで』と題した講演があった。ハンドブックは大学院後にフリーターとなって国内の既知種 105 種のうち 103 種をこだわって撮影し、執筆した渾身の 1 冊。クモを研究している立場で違和感を覚えながら、使い勝手が良いように系統ではなく外見が似ているものを近くのページに配置したことなど、苦労話



関根さんはクモのTシャツやバンダナをインターネットで購入したという

が楽しく語られた。小ネタが満載で 30 分の講演時間もあっという間に過ぎた。

昼休みと講演 2 題のあとはポスター発表 6 題があった。奈良県三郷町から学会に参加した関根幹夫さんは、クモや網が描かれたTシャツとバンダナ姿で、和歌山県の主要道路で調べた、帰化種・クログケジグモの分布を発表していた。和歌山県に広範囲に分布しているという結果だが、高野山の掃除が行き届いている場所ではなかなか見つからなかったという。

ポスター発表会場では、地元広島で事務局のメンバーでもある本多佳子さんが娘の実桜ちゃん(1)をつれてポスターを見て回っていた。小規模な学会ならではの、ほほえましい光景だと思った。

ポスターの次はシンポジウム。オサムシの交尾器の話などクモとちがう昆虫の話聞くからこそ勉強になる部分もあったが、今回の一番の収穫は、井原さんのヤミサラグモとナミハグモの話を一一般講演の倍の時間、30 分間しっかりきいたことだった。種によって、交尾器の形状の多様さや、種分化をもたらす原動力が違っ



今大会最年少の参加者
雨貝実桜ちゃん

てくるということが、ようやく何となく分かるレベルにまでになった気がした。

1 日目夜は、会場近くの料亭での懇親会があった。全国の学会員が集まる機会は 1 年に 1 度しかなく、懐かしい面々と乾杯をした。



田中・新学会長（左）らベテラン組



奨励賞受賞の須黒さん（中央）ら、中堅組



谷川さん（中央）ら、年齢不詳組

2 日目は、谷川さんはキムラグモの分布の変遷を、DNA の遺伝子多様度と現在の分布から推測していたし、鳥取大の鶴崎展巨教授は、DNA の系統解析をこれまでの形態の違いによ

るグループ分けと比較するなどして、これまで決めてこられなかった種の線引きを試みていた。鶴崎先生については、鳥取に赴任直後の今年 5 月に（本業の新聞記者として）取材をしたとき、「僕の目標は、全国のザトウムシ相を明らかにすること。どれとどれが同種でどれとどれが別種か、全国あちこちにある、染色体数が違うものの分布が接するところで調べて地理的変異を押さえていくんですよ」と聞いていた。当時はピンとこなかったが、今回、井原さんの話と同様に、鶴崎先生の講演が何となく分かるような気がした。

午前中の講演の後、午後の 50 回大会記念一般シンポジウムの前に大会は中締めとなった。時期大会場所は山形県鶴岡市。人工クモ糸の「スパイバー」などがあるバイオ研究拠点「サイエンスパーク」に新しくできた施設での開催という。建築家・坂茂氏がデザインした田んぼに囲まれたおしゃれな施設。とても行ってみたいと思った。



同好会情報

ここでは日本各地にあるクモ同好会で発行されている定期刊行物の内容、採集会や講演会（総会・例会）の日程などを紹介します。興味を持たれた方は入会したり、行事に参加されてはいかがでしょうか。

関西クモ研究会（会長：田中穂積）

会報「くものいと」を年2回発行。採集会・研究会例会などを年数回実施。

くものいと 52号（作成中）

採集会・合宿は終了しました。

例会

2018年12月16日（日）

大阪市立自然史博物館1階集会所で開催

入会申し込み

〒569-0087

高槻市千代田町 1-1-527

加村隆英 方

電子メール：kamura@haruka.otemon.ac.jp

会費 年1000円

三重クモ談話会（会長：橋本理市）

会報「しのびぐも」を年1回発行。採集会・合宿・例会などを年数回実施。

しのびぐも 45号（2018年7月発行）

熊田憲一：片桐（鈴木）三樹遺稿「蜘蛛」について

貝發憲治：エビチャコモリグモの出のう後の一観察

貝發憲治：単眼欠如のクモ（III）

武藤茂忠：いなべ市北部のクモの仲間たち紹介
地域おこし協力隊員・矢崎充彦氏採集のクモを同定して

塩崎哲哉：志摩市磯部町五知の里山のクモ

2017年度三重クモ談話会採集観察会採集品目録

三重クモ談話会：2017年度活動計画

三重クモ談話会：2018年度活動計画

採集会

本年分は終了しました。

総会・反省会 2019年2月16日（土）松阪市日野町カリヨンプラザ

詳しくは会のホームページをご参照ください。

<http://miekumo.web.fc2.com/>

参加希望者は事務局（貝發）まで連絡してください。

入会申し込み

〒515-0087 三重県松阪市萌木町7-4

貝發憲治（事務局）

Tel (Fax) 0598-29-6427

mail：kumo@mctv.ne.jp

会費 年2000円

中部蜘蛛懇談会（代表：緒方清人）

会報「蜘蛛」を年1回、「まどい」を年3回発行。採集会を年2~4回。総会・研究会を年1回実施。

蜘蛛（KUMO）51号（作成中）

採集観察会

本年度分は終了しました。

総会・研究会は2019年2月11日（月、祝）ウィルあいちにて開催

入会申し込み他

全般について

〒472-0022 知立市山屋敷町東山10-6

緒方清人（代表）

Tel 0566-83-4474

E-mail：neon_kiyotoi@ybb.ne.jp

入会・会費など

〒467-8501 名古屋市瑞穂区瑞穂町山の畑1

名古屋市立大学 気付 片山詔久（会計）

Tel 052-872-5853

nory@nsc.nagoya-cu.ac.jp

会費

正会員 年 3000 円 (高校生以下 1000 円)

準会員 「まどい」のみ 1000 円

東京蜘蛛談話会 (会長: 新海栄一)

会報「KISHIDAIA」を年 2 回, 「談話会通信」を年 3 回発行. 採集会年 4 回・合宿年 1 回・総会例会などを年 2 回実施.

今年度の採集会は, 国立市のママ下湧水・多摩川河川敷で行います.

2019 年 2 月 10 日 (日)

南武線 矢川駅北口下のロータリー午前 10 時集合

世話人: 初芝伸吾 090-6156-8378

甲野 涼 090-9370-4950

合宿

本年度分は終了しました.

例会

12 月 2 (日) 10 時より東京環境工科専門学校で実施. 申し込みなどは不要です.

KISHIDAIA 113 号 (2018 年 8 月発行)

本間幸治: 都立葛西臨海公園における 3 月初旬のジョロウグモ成体の記録

新海 明: 断腸亭日乗と蜘蛛 (昭和初期のアシダカグモの分布)

新海 明: 50 年目の高幡不動のクモ

安藤昭久: クスマサラグモ *Nerienne fusca* は卵囊を縄で縛る

安田明雄: 立春を迎えたジョロウグモ (横浜市金沢区の記録)

DRAG L I N E S

馬場友希・片山直樹: 奄美大島で採集されたクモ

内藤隆寧・市川武明: スズキコモリグモを採集

鈴木佑弥: アシナガグモ科の雄によるクモ食いの事例

鈴木佑弥: ヤマトカナエグモの卵囊を摂食していたフタオイソウロウグモ

鈴木佑弥: サダモトヒメグモの交接および卵囊保持行動を野外で確認

鈴木佑弥: サワガニを摂食していたアオグロハシリグモ

鈴木佑弥: 茨城県つくば市でキジロオヒキグモを採集

鈴木佑弥: 栃木県でアシハラメキリグモを採集

鈴木佑弥: 静岡県浜松市で 12 月~3 月にかけて採集されたクモ

鈴木佑弥・飯田恭平・澤島拓夫・早坂大亮: 口永良部島にてピットフォールトラップにより採集されたクモ

鈴木佑弥: 2018 年 6 月に筑波山で採集されたクモ

芹田凌平: 高知県で採集したクモの訂正

菅波洋平: 尾瀬の土壌から採集されたクモ類

入会申し込み

〒186-0002 東京都国立市東 3-10-8

コンフィデンス高垣 105 (有) エコス

初芝伸吾 (事務局)

Tel 042-501-2651

E-mail:hatsushiba-ecosys@h8.dion.ne.jp

会費 年 2000 円 (学生 1000 円)

2015 年度より値下げしました.

東京クモゼミ

毎月 1 回, 第 1 土曜日に千葉県市川市の加藤宅で開催. 会費などなく誰でも参加できる.

連絡先 新海 明 042-679-3728

または, 加藤輝代子 047-373-3344

開催日は <https://dp7a-tnkw.wixsite.com/kumosemi> に掲示しています。

メーリングリスト「クモネット」

会費などなく誰でも参加できる。入会の申し込みは e-mail で馬場友希まで。

ybaba@affrc.go.jp

言いたい！聞きたい！



クモ切手の風景 12

笹岡文雄

アメリカ 1999 年発行の昆虫とクモの 1 枚シートです。シートは同じ切手を 20 枚なりで刷る形式が一般的ですが、記念切手ではこの様に 1 シート全て違う図案のものが普通にあります。日本でも郵政民営化前後より増えて来ました。

この切手の変ったところは図案の種の解説が裏に刷られていること。当然使用してしまうと読めなくなります。

クモはご覧の通り、各角全ての 4 種、Black widow, Yellow garden spider, Spinybacked spider, Jumping spider の記名があります。学名は裏の解説に記してある凝りようです。

シートのサイズは 199 × 189mm.



採集情報

日本各地で採集された稀産種や、都道府県初記録、島初記録、南限更新、北限更新など分布上の重要情報について掲載する。これを読み、「私もこんな種類を採集しているぞ」という方はその情報を是非お寄せいただきたい。

【このコーナーに掲載する記録は、証拠標本か、同定のキーとなる特徴がはっきりと撮影されている写真かのどちらかがあるものに限らせていただきます。目撃談のみのものにつきましては取り上げません。また、幼体の記録についてはいろいろと議論のあるところですが、とりあえず現段階では、投稿があれば参考記録として掲載を継続させていただきます。しかし、幼体での記録は誤同定の危険が大きいですので、可能な限り避けてください。】

カグラゴマグモ 長崎県長崎市長崎市立茂木小学校脇 30malt 2003年2月17日 2♀ 坂寄 廣採集，菅波洋平同定

チブサトゲブモ 口永良部島 2018年7月28日 1♀（成幼不明） 貴船 梗採集，小西祐伸同定

タイリクウズグモ 山梨県南アルプス市在家塚 2018年7月29日 1y 齊藤勝巳採集・同定，谷川明男確認

マギイトリノフンダマシ 沖縄県八重山郡竹富町南風見仲 2018年7月18日 1♀ 栗原良輔採集・鈴木佑弥同定

ホームラハエトリ 沖縄県八重山郡竹富町南風



マギイトリノフンダマシ

見 2018年7月18日 1♂ 栗原良輔採集・鈴木佑弥同定

ヤスダヒメオニグモ 茨城県稲敷市浮島 2018年7月29日 2♀ 鈴木佑弥採集・同定



ヤスダヒメオニグモ

ホウシグモ 佐賀県佐賀市富士町大字関谷北山キャンプ場 2018年5月26日 1♀ 野口奨悟採集同定・谷川明男確認

ウデグロカタオカハエトリ 岩手県北上市経塚山山頂 2018年8月13日 1♂ 渡辺修二採集・同定

アワセグモ 東京都渋谷区代々木 2018年8月14日 1y 大生唯統採集・市川武明同定。

埼玉県比企郡鳩山町熊井 黒石神社 2018
年9月19日 1♀ 平松毅久採集・同定

ヘリジロハシリグモ 熊本県天草市五和町
2018年7月14日 1♀1♂ 亀山陽平, 村田
浩平, 本田将大採集・同定



ヘリジロハシリグモ

ゲホウグモ さいたま市桜区秋ヶ瀬公園
2018年6月30日 1♀ (成幼不明) 井上
恵子採集・碓井 徹情報提供・平松 毅久写真
確認

オキナワアズチグモ 奄美大島瀬戸内町
28.137908N, 129.354141E 2018年11月
1日 1♀ 谷川明男採集・同定
(新海 明・谷川明男集約)

遊絲原稿送付先

〒192-0352 八王子市大塚 274-29-603
新海 明まで
E-mail では dp7a-tnkw@j.asahi-net.or.jp
(谷川明男) まで

遊絲の発行は、年2回(5月, 11月)の予定。
投稿締切は発行月の前月末日(4月末と10月
末)です。

日本蜘蛛学会

homepage : <http://www.arachnology.jp/>
Atypus 閲覧のパスワードは

入退会は

庶務幹事

高須賀圭三

〒997-0052 山形県鶴岡市覚岸寺字水上
246-2 慶應義塾大学先端生命科学研究soメタ
ボロームキャンパス D25 慶應義塾大学先端生
命科学研究so

E-mail: keizaf@gmail.com

会費の問い合わせ及び住所変更は

会計幹事

加藤輝代子

〒272-0827 千葉県市川市国府台 5-26-16-
206

E-mail : kiyoko_kato@tce.ac.jp

年会費 正会員 7000 円 (学生は 5000 円)

郵便振替口座 00970-3-46745

日本蜘蛛学会

遊絲 第43号

2018年12月15日発行

編集者 新海 明, 谷川明男, 池田博明

発行者 日本蜘蛛学会 会長 田中幸一
